

IV. 顕彰

1. 日本数学会賞春季賞・秋季賞

重要な研究成果をあげた40歳未満の数学者を顕彰する春季賞を1名に、また過去5年以内に特に優れた業績をあげた数学者を顕彰する秋季賞を1件に授与しました。

2. 日本数学会賞建部賢弘特別賞・奨励賞

若くして特に優秀な業績をあげた数学者を顕彰する特別賞を4名に、また極めて若くして優れた業績をあげた数学者を顕彰する奨励賞を6名に授与しました。

3. 日本数学会出版賞

著作活動により数学の研究・教育・普及に顕著な業績をあげた個人または団体、もしくは著作物を顕彰する出版賞を、著者1名および著作物1件に授与しました。

4. JMSJ 論文賞

2021年の「Journal of the Mathematical Society of Japan」に掲載された論文のうち、特に優れた1編の著者に授与しました。

5. 日本数学会解析学賞

解析学の発展に貢献した数学者を顕彰する解析学賞を3名に授与しました。

6. 日本数学会幾何学賞

幾何学の発展に貢献した数学者を顕彰する幾何学賞を3名に授与しました。

7. 日本数学会代数学賞

代数学の発展に貢献した数学者を顕彰する代数学賞を3名に授与しました。

8. 日本数学会応用数学賞

応用数学の研究において顕著な業績をあげた研究者を顕彰する応用数学賞を1名に、また応用数学分野において優れた業績をあげた若手研究者を顕彰する応用数学研究奨励賞を4名に授与しました。

V. 研究奨励

1. 加藤敏夫フェロー

東南アジア数学会の協力のもと、次世代を担う東南アジア在住の若手数学研究者を育成することを目的として1名を選考し、名古屋大学において受け入れました。

2. 日本数学会奨励研究生

厳しい研究環境の下で主体的に研究を進める若手数学研究者を奨励することを目的として、学位（博士）取得後5年以内の有望研究者4名を第4回奨励研究生として採用しました。

VI. 国際交流

1. International Mathematical Union (IMU) 総会に代表団を派遣しました。また、International Congress of Mathematicians 2022 (ICM2022) (オンライン開催) に先立ち、日本の数学のアクティビティを世界にアピールする研究集会「2022年国際数学会議に関連する日本フォーラム」を日本学術会議数理科学委員会 IMU 分科会との共催により開催しました。

2. ICM2022 開催の支援を目的として200万円を拠出しました。

3. 秋季総合分科会に、台湾数学会代表団を招いて、台湾数学会の会員による企画特別講演を行いました。
4. IMU の下部機関である CDC（発展途上国の数学活動を支援する組織）に対して 15 万円を拠出しました。
5. Oberwolfach 研究所の財政を支援する組織（Verein zur Förderung）の機関会員として、年会費 500 ユーロを拠出しました。
6. 日米数学研究所（JAMI）を援助するため 10 万円を拠出しました。
7. The International Council for Industrial and Applied Mathematics（ICIAM）の会員として年会費 400 US ドルを拠出しました。

VII. 社会連携

1. 市民講演会（埼玉大学および北海道大学）を開催しました。
2. 博士課程の学生を中心としたキャリアパス支援構築を目的とし、「数学・数理科学専攻若手研究者のための異分野・異業種研究交流会 2022」をオンラインにより開催しました。
3. 数学「ジャーナリスト・イン・レジデンス」（JIR）プログラムへの支援を行いました。
4. 「女子中高生夏の学校」においてオンラインにより、実験指導、ポスター展示、キャリア相談を行いました。

2022年度事業報告附属明細書

2022年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しない。